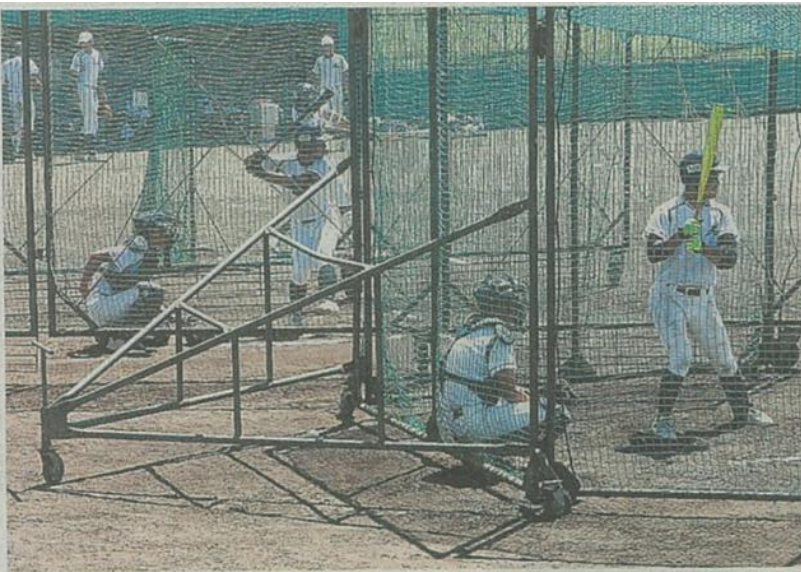


光星ナイン 戦闘モード

夏の甲子園 現地で初練習

第104回全国高校野球(子園)に出場する八戸学
球選手権(6日開幕、甲 院光星のメンバーが2



現地到着後初の練習に取り組む八学光星
の選手たち(2日午前、兵庫県西宮市)

日、兵庫県西宮市の鳴尾
浜臨海野球場で、現地到着
後初の練習を行った。
選手たちは1日午前4
時前、八戸市の寮をバス
で出発。約14時間かけて
移動し、同日中に大阪府
内の宿舎に入った。2日
は入念なウォーミングア
ップで体をほぐした後、

午前10時から2時間ほ
ど、ノックや打撃などの
基本練習に取り組んだ。
終了後、仲井宗基監督
はオンライン取材に「長
時間移動で体の動きが鈍
ることを見越し、意識し
て声を出し、足を動かす
よう選手たちに促した。
課題の打撃についても、
今日はしっかり振られてい
たと思う。いよいよ戦闘
モードに入った感じ」と
手応えを語った。
主将の洗平歩人(3年)
は「移動中に車窓から甲
子園球場を初めて見て、

やっと来た実感が湧いて
きた。浮足立つことなく
しっかり準備したい」と
気合十分。
組み合わせ抽選会は3
日に行われる。洗平は「気
が抜けないのはどろろが相
手でも同じ。気楽に(く
じを)引きたい」と話し
た。(野村遥、蝦名大輔)